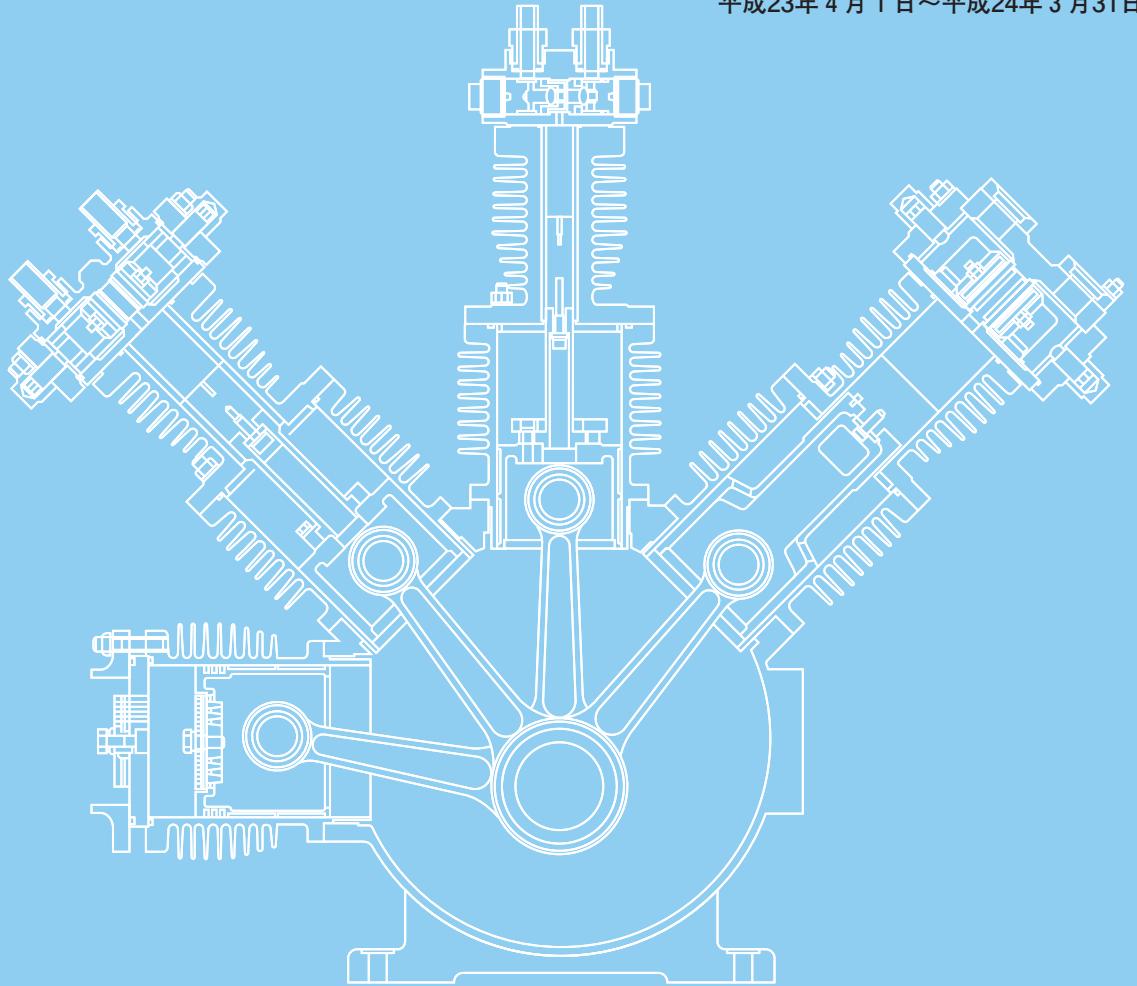


株主通信

第79期期末報告書

平成23年4月1日～平成24年3月31日



この報告書は、環境に配慮し、
植物油インキを使用しており
ます。



株式会社加地テック

株主の皆様には益々ご清栄のこととご拝察申し上げます。

昨年は未曾有の東日本大震災に始まり、次々と自然災害が日本列島を襲った1年でありました。日本経済は、災害からの復興と放射能汚染への対応、原子力発電所の再稼動問題という喫緊の課題に対処しつつ、景気の浮揚と財政再建の両立を図らねばならない難しい状況になっています。

平成24年3月期の当社の売上は、大口案件の期ずれの為5,208百万円に止まり、前年比14.7%減となりましたが、経常利益は473百万円を確保し、同5.8%減に止めることができました。平成25年3月期は、輸出の伸張により売上は大きく改善し8,000百万円と予想しておりますが、円高や競争の激化により当期純利益は若干の改善に止まるものと予想しております。

今年度は昨年度にスタートさせました3ヵ年経営計画の中間の年に当たります。現在実行中の新商品の開発、輸出市場・新規顧客の開拓、コスト削減を一層加速し、来年度（3ヵ年計画最終年度）の大きな業績改善に繋げるべく努力してまいります。

株主の皆様、取引先の皆様におかれましては、倍旧のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



平成24年6月

代表取締役社長
小林 士郎

【事業の経過および成果】

当事業年度における日本経済は、昨年3月に発生した東日本大震災で急速に落ち込んだ後、夏場にかけてサプライチェーンの復旧もあり回復しました。その後、欧州債務問題の再燃、円高の進展、そしてタイの洪水の影響により一時的に停滞の動きとなりましたが、円高の修正、米国経済の回復を受けて持ち直しています。この間、企業での生産、設備投資や個人消費等は、落ち込みから緩やかに増加・回復が続いていますが、企業収益は震災、海外経済減速による輸出の減少で売上が落ち込み悪化しています。

一方、世界経済ですが、欧州の景気後退が継続するほか、米国では回復基調にあるものの個人消費等が抑制的に推移しており、本格的な景気回復には程遠い状況となっています。また、中国は欧州景気の低迷により、輸出・生産が減速しています。

このような状況下、当事業年度の受注高は前年同期比14.4%増の7,005百万円となりました。圧縮機事業においては、前年同期比13.6%増の6,861百万円となり、繊維機械事業においては、前年同期比78.9%増の143百万円となりました。

当事業年度末受注残高は前年同期比101.3%増の3,570百万円となりました。圧縮機事業においては、受注が増加したことに加え、一部案件が納期変更となった為、前年同期比99.7%増の3,513百万円となり、繊維機械事業においては本体受注が増加し、前年同期比293.2%増の56百万円となりました。

当事業年度の売上高は、前年同期比14.7%減の5,208百万円となりました。圧縮機事業においては、前述の納期変更に加え、ペットボトルブロー成形用圧縮機及び六フッ化硫黄ガス回収用圧縮機等の売上が減少したことにより、前年同期比15.0%減の5,107百万円となり、繊維機械事業においては、前年同期比1.0%減の100百万円となりました。

売上総利益は、国内外の競合企業との競争が激化しているものの部品等の売上が増加したこともあり、前年同期比2.5%増の1,401百万円となりました。一方、販売費及び一般管理費が研究開発費等の増加により前年同期比8.6%増の946百万円となった為、営業利益は前年同期比8.3%減の455百万円、経常利益は前年同期比5.8%減の473百万円となりました。当期純利益は、前年同期において特別利益52百万円（貸倒引当金戻入額14百万円、投資有価証券売却益24百万円及び償却債権取立益12百万円）があったことにより、前年同期比28.7%減の229百万円となりました。

トピックス

【今後の見通し】

今後の日本経済は、復興需要による公共投資、設備投資等国内の需要の増加が見込まれます。また、欧州財政危機の行方、原油価格等国際商品市況の上昇といった懸念材料がありますが、円高の一服、米国経済の持ち直しにより輸出環境の好転が見込まれています。

このような状況の中、当社といたしましては、中長期的・持続的成長を実現する為に海外向け製品開発・販売に注力してまいります。

尚、平成25年3月期の売上高は、8,000百万円（前年同期比53.6%増）、営業利益420百万円（前年同期比7.7%減）、経常利益420百万円（前年同期比11.3%減）、当期純利益250百万円（前年同期比8.9%増）を見込んでおります。

【中長期的な会社の経営戦略】

国内市場において今後も設備投資の低迷が続くと予想される状況の中で、当社の中長期的・持続的成長を実現する為、国際化を強力に推進します。海外市場において、国内外の企業との競争に打ち勝ち売上を拡大する為、一層のコストダウンと技術・商品開発に取り組みます。

今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

【海外向けCNG圧縮機完成】

経営計画の中の重要施策のひとつである『海外向けCNG圧縮機』の開発機が完成しました。平成23年7月から試運転を開始し、現在、耐久性検証試験を行っています。

天然ガス自動車にガスを充填するCNG圧縮機は、国内では当社はガス中に油分が混入しないオイルレス型圧縮機で高いシェアを維持しています。しかし、海外市場向けは、全く仕様が異なり、新しい機種を開発する必要がありました。

今回、ユニットサイズは極めてコンパクトでありながら、高効率、大吐出量（1600Sm³/h）、低価格を目標に、吸込弁・吐出弁やピストンリングなどに全く新しい技術を採用し、海外市場向けに新たに水平対向型給油式のCNG圧縮機を開発しました。製作後の試運転では、過去最高の高効率を実現し、海外でも十分通用する性能を得ることができました。

商品化にはさらなるコストダウンが必要で、新たな生産方法や生産拠点を見出す必要がありますが、当社の経営方針である国際化の第1段として、この海外向けCNG圧縮機を商品化し、拡販を目指します。

*CNG：圧縮天然ガス（Compressed Natural Gas）



基本仕様

- ・水平対向2気筒2段圧縮空冷給油式
- ・吸込圧力：16～19 kg/cm²G
- ・吸込圧力：250 kg/cm²G
- ・吐出量：1600 Sm³/h
- ・電動機出力：220 kW

業績ハイライト

■ 売上高 (単位：百万円)



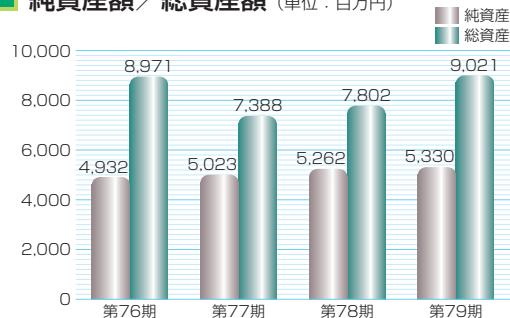
■ 経常利益 (単位：百万円)



■ 当期純利益 (単位：百万円)



■ 純資産額／総資産額 (単位：百万円)



■ 1株当たり純資産額 (単位：円)



■ 1株当たり当期純利益 (単位：円)



貸借対照表 (平成24年3月31日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		金 額
科 目		
流 動 資 産		
現金及び預金		520,474
受取手形金		577,758
売掛金		1,228,489
製什掛品		29,609
仕掛品		1,843,043
原材料貯蔵品		260,807
前渡金		158,760
預け金		2,950,000
繰延税金資産		187,881
その他の流動資産		25,173
貸倒引当金		△ 31,500
流動資産合計		7,750,497
固 定 資 産		
有形固定資産		
建物		106,400
構築物		17,654
機械装置		269,508
車両運搬具		6,376
工具器具備品		41,827
土地		447,525
リース資産		32,671
計		921,964
無形固定資産		
ソフトウェア		32,208
電話加入権		2,879
計		35,087
投資その他の資産		
投資有価証券等		13,115
破産更生債権等		109,722
繰延税金資産		233,302
その他の投資金		67,156
貸倒引当金		△ 109,722
計		313,574
固定資産合計		1,270,626
資産合計		9,021,124

(単位：千円)

負 債 の 部		金 額
科 目		
流 動 負 債		
支払手形		779,423
買掛金		214,095
短期借入金		200,000
リース債務		20,280
未払費用		154,908
未払法人税等		137,966
前払引当金		1,282,426
賞与引当金		151,611
受注損失引当金		95,500
その他の流動負債		26,434
流動負債合計		3,062,645
固 定 負 債		
リース債務		12,200
退職給付引当金		556,367
役員退職慰労引当金		59,661
固定負債合計		628,229
負債合計		3,690,875
純 資 産 の 部		
株 主 資 本		
資本金		1,440,000
資本剰余金		1,203,008
資本準備金		1,203,008
資本剰余金合計		1,203,008
利益剰余金		141,600
利益準備金		
その他利益剰余金		
別途積立金		625,000
繰越利益剰余金		2,021,914
利益剰余金合計		2,788,514
自己株式		△ 102,864
株主資本合計		5,328,659
評 価 ・ 換 算 差 額 等		
その他有価証券評価差額金		1,926
繰延ヘッジ損益		△ 336
評価・換算差額等合計		1,589
純資産合計		5,330,249
負債・純資産合計		9,021,124

損益計算書 (平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	金 額
売 上 高	5,208,479
売 上 原 価	3,807,008
売 上 総 利 益	1,401,471
販売費及び一般管理費	946,217
営 業 利 益	455,254
営 業 外 収 益	24,622
営 業 外 費 用	6,423
経 常 利 益	473,453
税引前当期純利益	473,453
法人税、住民税及び事業税	217,433
法人税等調整額	26,413
当 期 純 利 益	229,606

(注) 1株当たり当期純利益(期中平均発行株式数による) 13円66銭

株主資本等変動計算書 (平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

(単位：千円)

	株 主 資 本		
	資 本 金	資 本 剰 余 金	
		資 本 準 備 金	資 本 剰 余 金 合 計
平成23年4月1日残高	1,440,000	1,203,008	1,203,008
当事業年度中の変動額			
剰余金の配当			
当期純利益			
自己株式の取得			
株主資本以外の項目の当事業年度中の変動額(純額)			
当事業年度中の変動額合計			
平成24年3月31日残高	1,440,000	1,203,008	1,203,008

	株 主 資 本					
	利 益 剰 余 金				自 己 株 式	株 主 資 本 合 計
	利 益 準 備 金	別 途 積 立 金	そ の 他 利 益 剰 余 金 (繰越利益剰余金)	利 益 剰 余 金 合 計		
平成23年4月1日残高	141,600	625,000	1,893,859	2,660,459	△ 42,745	5,260,722
当事業年度中の変動額						
剰余金の配当			△101,550	△101,550		△101,550
当期純利益			229,606	229,606		229,606
自己株式の取得					△ 60,118	△ 60,118
株主資本以外の項目の当事業年度中の変動額(純額)						
当事業年度中の変動額合計			128,055	128,055	△ 60,118	67,937
平成24年3月31日残高	141,600	625,000	2,021,914	2,788,514	△102,864	5,328,659

	評 価 ・ 換 算 差 額 等				純 資 産 合 計
	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	繰 越 延 誤 損 益	評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計		
平成23年4月1日残高	1,352	8	1,361		5,262,083
当事業年度中の変動額					
剰余金の配当					△ 101,550
当期純利益					229,606
自己株式の取得					△ 60,118
株主資本以外の項目の当事業年度中の変動額(純額)	573	△ 345	228		228
当事業年度中の変動額合計	573	△ 345	228		68,165
平成24年3月31日残高	1,926	△ 336	1,589		5,330,249

キャッシュ・フロー計算書(要旨) (平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

(単位：千円)

営業活動によるキャッシュ・フロー	1,072,084
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 111,689
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 159,007
現金及び現金同等物の期末残高	3,470,474

会社の概要

社名 株式会社加地テック
 KAJI TECHNOLOGY CORPORATION
創立 明治38年5月（1905年）
会社設立 昭和9年2月（1934年）
資本金 14億4,000万円（大阪証券取引所第二部上場）
製造品目 空気及びガス圧縮機

水冷・空冷式圧縮機
 給油・オイルフリー・オイルレスタイプ圧縮機
 石油化学・産業ガス用
 電力・試験・一般産業用
 ペットボトルブロー成形用
 天然ガス自動車燃料充填用
 燃料電池自動車燃料充填用
 各種ガス回収精製装置

繊維機械

タイヤコード用撚糸機
 グラスファイバー用撚糸機
 産業資材用撚糸機

所在地 **本社・工場**
 〒587-0064 大阪府堺市美原区菩提6番地
 TEL：072-361-0881（代表）
 FAX：072-362-4491（総務部）

東京支社
 〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2丁目20番15号
 高田馬場アクセス3F
 TEL：03-3232-2651（代表）
 FAX：03-3232-2650

大阪支店
 〒556-0011 大阪市浪速区難波中2丁目10番70号
 パークスタワー23F
 TEL：06-7662-8600（代表）
 FAX：06-7662-8604

サービスセンター
 〒275-0023 千葉県習志野市芝園2丁目2番6号
 TEL：047-452-7660（代表）
 FAX：047-452-7666

株主の状況

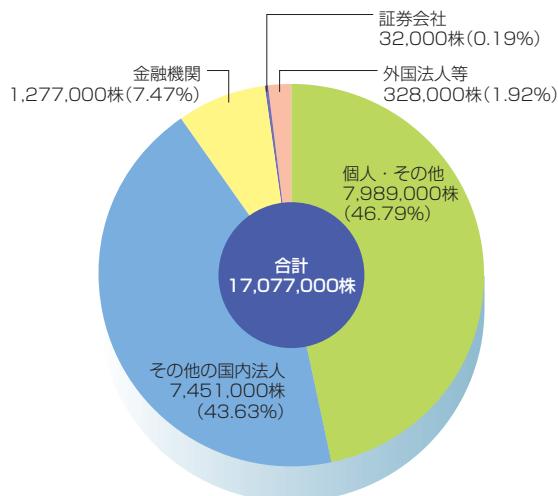
【大株主の状況】

株主名	持株数	持株比率
丸紅株式会社	6,330千株	38.20%
株式会社神戸製鋼所	700	4.22
加地取引先持株会	590	3.56
株式会社みずほ銀行	338	2.04
UBS AG LONDON A/C IPB SEGREGATED CLIENT ACCOUNT	315	1.90
みずほ信託銀行株式会社	303	1.82
株式会社三菱東京UFJ銀行	200	1.20
東京海上日動火災保険株式会社	183	1.10
松原佐多子	176	1.06
日本生命保険相互会社	172	1.04

（注1）当社は、自己株式608,757株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。

（注2）持株比率は自己株式608,757株を控除して計算しております。

【所有者別株式の分布状況】



（注）上記株式数には、単元未満株式103,000株は含まれておりません。

役員 (平成24年6月26日現在)

株主メモ

役職	氏名	担当
代表取締役社長	小林 士郎	
専務取締役	伊藤 芳輝	技術部・生産管理部・生産部・繊維機械室担当役員
専務取締役	砥上 剛	東京支社・大阪支店担当役員
取締役	岩澤 勇三	東京支社長兼サービス部・サービスセンター担当役員兼東京支社営業部長
取締役	野村 和史	大阪支店長兼繊維機械室長
取締役	石原 祥行	生産管理部長
取締役	新井 光司	経理部長兼総務部・経理部担当役員
取締役	岡元 宣昭	
取締役	藏元 正隆	
取締役	佐藤 誠	
常勤監査役	豎 英巳	
監査役	八尾 尚史	
監査役	入野 敏彦	

- (注) 1. 岡元宣昭氏、藏元正隆氏、佐藤 誠氏は会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
2. 八尾尚史氏、入野敏彦氏は会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中
上場金融商品取引所	大阪証券取引所市場第二部
株主名簿管理人兼特別口座管理機関	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
郵便物送付及び電話お問合せ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話0120-288-324(フリーダイヤル)
特別口座管理機関取次所	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日
単元株式数	1,000株
公告方法	電子公告(当社ホームページに掲載) [アドレス] http://www.kajitech.com ただし、事故その他やむをえない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。